

# 阿波國 すきま 漫遊記

## VOL.16 タコの山

[取材・文・写真] 深草 縁夫

関東出身・徳島在住のサラリーマン。2000年からサイト『日本すきま漫遊記』を開発・公開。日本各地の寺・神社を中心として、一般には大々的に取りだたされることのないようなマイナー観光スポットをめぐり紹介している。■日本すきま漫遊記 <http://www.sukima.com>



### ■徳島市・福島団地のタコの山

福島団地内の公園にあるタコの山。最近塗り直されたようで、落書きなどもなくきれいな状態。各部分の造りはタコの山の標準的なデザインでまとめられており、手堅いモデルといえるだろう。

### タコの山とは

公園の遊具で最も人気が高いのは滑り台ではないかと思う。その中でも「タコの山」と呼ばれる複合滑り台は、形のユニモラスさ、滑りの多様さで特に愛されている滑り台だ。子供のころに滑ったことがあるという人も多いのではないだろうか。

この滑り台を作ったのは、前田環境美術術という遊具メーカーである。タコ型の滑り台は全国に2000箇所程度あると言われており、徳島県内には7つのタコが確認できる。徳島全体をみると、愛媛県に3箇所、高知県に3箇所、香川県には今のところ見つかっていないので、徳島は四国のタコ王国と言ってもいいだろう。

### タコの山の魅力

タコの山の魅力は第一に滑って楽しいということだ。特にタコの背中側から前側に向けて螺旋を描くように作られた滑走部は、他の滑り台ではなかなか味わえないスリルがある。タコの山の滑走部の表面は、「人造石研ぎ出し仕上げ」、通称「人研ぎじんとき」と呼ばれる仕上げである。人研ぎは、左官職人が研ぎ職人が手間をかけて仕上げられるもので、最近の滑り台ではほとんど見られなくなっているが、摩擦が少なくスピードも出るので、楽しい滑り台が多い。



### ▲タコの山の内部

頭部の中の様子。通路や滑走部が複雑に分岐している。単に滑るといった目的以上に、空間の体験としても面白い。

タコの山のもう一つの魅力は、その形状の多様性と手作り感だ。工場で作ったユニットを組み立てるだけの滑り台と違って、タコの山は発注者の意見を取り入れ作りしなげで、一点一点鉄筋職人が形を作り上げてゆく。私はこれまでに30箇所以上のタコの山を見てきたが、すべて少しづつ違っている。



### ▲阿南市・中浦緑地のタコの山

頭の両側に、私が「耳」と呼んでいる小さなひさしがあるのが特徴。全国的にみると、ひさしのないタイプが多く、ひさしは徳島のタコの山の特徴である。



### ▲徳島市・応神公園のタコの山

頭の傾きが大きいのが特徴。頭を傾けているタコは、必ずこの方向に傾いている。逆に傾いている物件は全国でこれまでに1箇所で見つかっていないという。



### ▲松茂町・松茂中央公園のタコの山

明るいサーモンピンクで塗られている。エッジの仕上げが全体的にシャープ。私が「襟」と呼んでいる中央の八の字の部分が、女性のお胸みたいで、グラマーな印象のタコだ。

### タコの山の歴史

前田環境美術によれば、タコの山の誕生は偶然だったという。タコの山以前には「石の山」という商品があった。この遊具を見たある人が、「頭を載せたらタコになる」と言い、それを聞いたデザイナーが実際に頭を付けたのだそうだった。

前田環境美術は東京芸大出身の若手



### ▲徳島市・津田公園にある石の山

タコの山の原形となった作品を津田で見ることが出来る。ただし、いくつかの形状的な特徴から、タコの山が発売された以後に作られた石の山だと思われる。

彫刻家たちが中心となって創業した会社で、動物の形の遊具や抽象彫刻のような造形を重視した遊具を作ること、特徴だ。機能一辺倒の遊具ではなく、時に芸術的であったり、時に感情移入の対象であったりすることで、子供たちの記憶に強く残る遊具を造り出している。

それを証明するこんなエピソードがある。東京の北区で、道路整備のために公園のタコの山をどけなければならなくなった。新しく敷地に新品のタコの山を作り直すこともできたのに、住民達は思い出の「またタコの山をそのまま移設することを希望したのだという。一般的な遊具では考えられないことだ。

### さまざまなたこたち

県内のさまざまなタコ滑り台を紹介しよう。いずれも、前田環境美術の作品である。



### ▲三好市・善蔵公園

『抽象形態すべり台』という作品。前面に2本、背面に1本の滑走部があり、登るための階段がない不思議な滑り台。上部の三角形の形から「イカの滑り台」と呼ばれることがある。



### ▲徳島市・権宮神社こども公園のタコの山

『タコの山B』という作品。前方に2本、後方に3本の滑走部があり、見た目よりは複雑な滑り台。このように頭の上に登って遊ぶこともできるようだ。



### ▲徳島市・みなと公園のタコの山

『タコのすべり台』という作品。他のタコに比べるとやや幾何学的。脚の下に入ると、大タコに飲み込まれるような迫力がある。